

2008年度 前期	曜日・校時	水曜日 1・3校時	必修選択	選択	単位数	2
授業科目/(英語名)	日本語 Advanced Japanese					
対象年次	1年次	講義形態	演習	教室	留学生センター	
対象学生(クラス等)	留学生・全学部			科目分類	留学生用科目	
担当教員(科目責任者)	/ Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー					
担当教員:	嶋津 拓 / Eメールアド: shimazu@nagasaki-u.ac.jp /研究室: 留学生センター /TEL: 095-819-2238 /オフィスアワー: 水曜日 2・4校時					
担当教員(オムニバス科目等)						
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標						
<p>授業のねらい: 日本の大学学部で学習・研究するのに必要な上級レベルの日本語能力(とくに読解能力)を習得する。</p> <p>授業方法: 日本語で書かれた、様々な種類の文章(新聞・雑誌・概説書)を読む。</p> <p>授業到達目標: 上級レベルの文法や語彙・文字を習得するとともに、上級レベルの文章を読解する能力を獲得する。</p>						
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)						
<p>授業内容(概要)</p> <p>毎回、予習してあることを前提に、授業では、(1)本文の音読、(2)文型・語彙・表現の確認、(3)段落ごとの内容確認、(4)段落と段落の関係確認、(5)テキストの内容に関するディスカッション等を行う。</p> <p>各回2コマ</p> <p>第1回 授業概要説明/情報を得るために読む(1)</p> <p>第2回 情報を得るために読む(2)</p> <p>第3回 情報を得るために読む(3)</p> <p>第4回 大意を理解するために読む(1)</p> <p>第5回 大意を理解するために読む(2)</p> <p>第6回 大意を理解するために読む(3)</p> <p>第7回 筆者の主張を把握するために読む(1)</p> <p>第8回 筆者の主張を把握するために読む(2)</p> <p>第9回 筆者の主張を把握するために読む(3)</p> <p>第10回 筆者の立場を理解するために読む(1)</p> <p>第11回 筆者の立場を理解するために読む(2)</p> <p>第12回 歴史を扱った文章を読む(1)</p> <p>第13回 歴史を扱った文章を読む(2)</p> <p>第14回 文章を整理して読む</p> <p>第15回 まとめ/授業評価</p> <p>開講後、受講者の関心・専攻によってはテキストを変更する場合もある。</p>						
キーワード	上級レベルの日本語読解能力の獲得					
教科書・教材・参考書	プリント教材(担当教員が用意する。)					
成績評価の方法・基準等	評価は、授業参加の積極性 30%、授業中のリスポンス内容 30%、課題(作文) 40%によって行う。					
受講要件(履修条件)	日本語能力試験2級合格相当または日本留学試験(日本語科目)200点得点相当の日本語能力を有する留学生。					
本科目の位置づけ/学習・教育目標	日本の大学学部で学習・研究するのに必要な日本語能力(とくに読解能力)の習得。					
備考(準備学習等)	毎回、必ず予習をしてくること。 1校時目と3校時目の両方とも出席すること。一方のみの出席は認めない。					